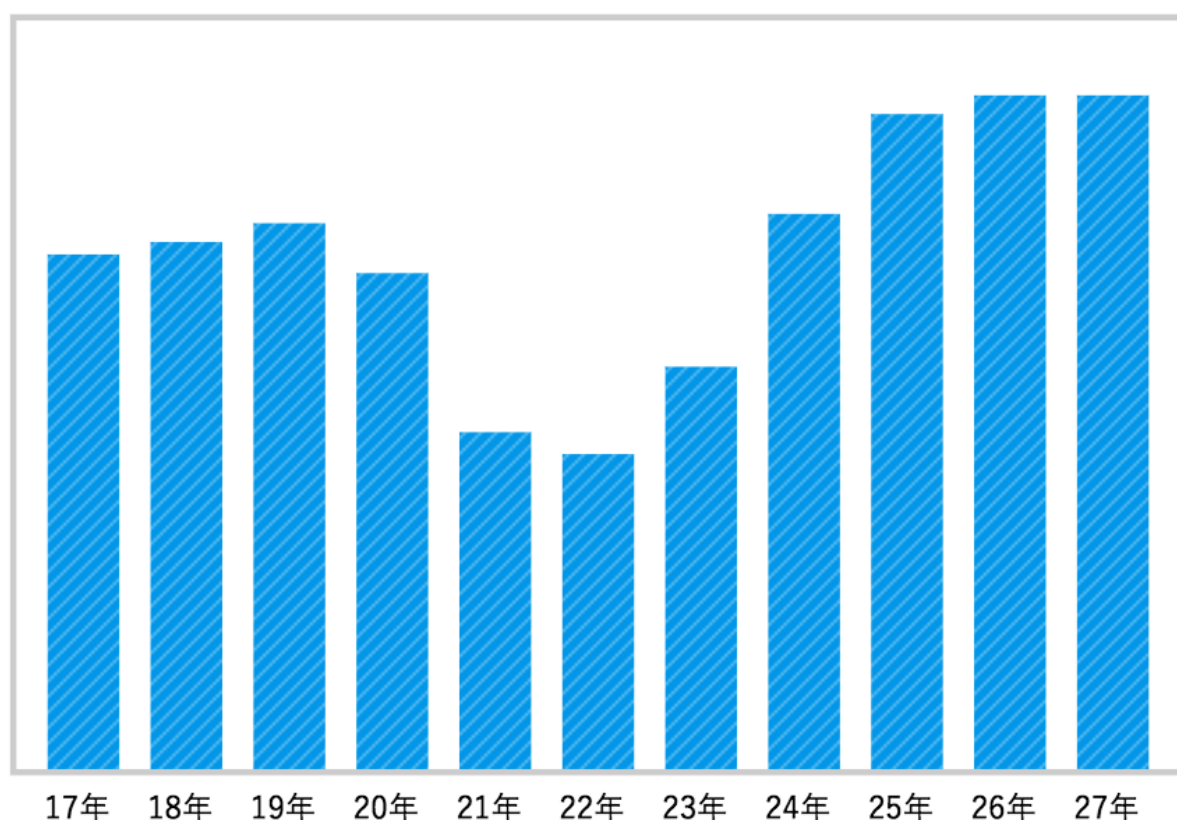


## 0.業界動向

グラフは旅行業界の業界規模の推移をグラフで表したものです。

旅行業界の規模の推移を見ることでその市場の大まかな現状や動向を把握することができます。

平成 27-28 年の旅行業界の業界規模（主要対象企業 10 社の売上高の合計）は 1 兆 4,176 億円となっています。



旅行業界の過去11年間の業界規模の推移

## 訪日外国人客が 2,400 万人を突破 円安も追い風に伸びる旅行業界

旅行業界の過去の推移を見ますと平成 19 年まで若干の増加傾向にありましたが、平成 19 年から 21 年にかけて減少。その後、平成 21 年から 23 年ごろまで横ばいが続き、平成 24 年から再び増加に転じています。

平成 20 年の旅行業界の不振は上期は燃油サーチャージの高騰が原因で海外旅行者数が減少。下期には世界同時不況の影響により国内・国外ともに旅行者数が減少しました。

さらに平成 23 年 3 月には東日本大震災が発生。訪日観光客が減少するうえ、震災の影響により国内旅行を控える消費者が増え、一時、人気の観光地に人が全くいないといった現象まで起きました。

一方、平成 24 年以降は、旅行業界の潮目が変わります。訪日外国人旅行者(インバウンド)の急増に伴い、旅行業界は活況に。平成 28 年の訪日外国人数は

2,400 万人を突破しました。さらに円安も追い風となり、近年にない伸びを見せています。

## 訪日外国人旅行客の急速な増加に伴い、ビジネスモデルにも変化が

平成 24 年ごろから旅行業界の業績が急回復した背景に、訪日外国人旅行客(インバウンド)の増加が挙げられます。

政府は観光立国を成長戦略の柱に掲げており、2020 年までに訪日外国人を 4,000 万人に引き上げる目標を立てています。こうした背景により、政府はビザの発給条件を緩和。東南アジアからの訪日外国人旅行客が急増しました。

さらに近年では、東南アジア諸国の経済成長が著しく、所得水準が向上。今まで日本に来れなかった中間層や富裕層が増えたことも増加の要因となっています。

一方で、円安による影響で日本から海外への旅行者は減少傾向に。平成 25 年 4 月には、一時的に訪日外国人旅行客数が日本人海外旅行者数を上回るなど、今までには見られない現象が起きました。急速なインバウンドの増加により、旅行業界のビジネスモデルも大きく変化してきています。

旅行業界 売上高&シェアランキング

企業名		売上高	シェア	億円
1	エイチ・アイ・エス	5,374	→ 37.9	<div></div>
2	KNT-CTホールディングス	4,249	→ 30.0	<div></div>
3	日本航空	1,722	→ 12.1	<div></div>
4	ANAHD	1,575	→ 11.1	<div></div>
5	阪急阪神HD	671	↓ 4.7	<div></div>
6	東武鉄道	220	↗ 1.6	<div></div>
7	名古屋鉄道	144	→ 1.0	<div></div>
8	農協観光	119	→ 0.8	<div></div>
9	ユーラシア旅行社	59	↓ 0.4	<div></div>
10	ニッコウトラベル	43	→ 0.3	<div></div>

出典:業界動向 search.com(<http://gyokai-search.com/3-ryoko.htm>)

- 1.企業の概要・ トップ
  - 1.1 企業概要

名称	株式会社エイチ・アイ・エス（東証1部：会社コード 9603）
登録番号	観光庁長官登録旅行業第724号
資本金	11,000百万円（平成28年10月31日現在）
設立	昭和55年12月19日
本社	〒163-6029 東京都新宿区西新宿6-8-1 新宿オークタワー29階 <a href="#">【本社への案内図】</a>
売上高	5,237億円（平成28年10月期連結業績）
従業員数	14,380名（グループ全体 平成28年10月31日現在）
加盟・認可団体	日本旅行業協会（JATA）、国際航空運送協会（IATA）
取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、東京都民銀行その他

出典：HIS 企業理念(<http://www.his.co.jp/company/summary.html>)

## 1.2 歴代トップの略歴

■ 澤田 秀雄（さわだ ひでお）
<p>1951 年、大阪府生まれ。73 年に旧西ドイツ・マインツ大学経済学部留学。在学中、世界 50 カ国以上を旅行する。76 年に帰国し、貿易事業の準備をするが、断念。その後、旅行会社インターナショナルツアーズを新宿で開業。90 年に社名をエイチ・アイ・エス（H.I.S.）に変更し、事業を成長させる。95 年 3 月に店頭公開。96 年、オーストラリアのゴールドコーストにホテルをオープン。98 年には航空会社スカイマークエアラインズ（現：スカイマーク）を就航させる。99 年、協立証券の株式を取得し、エイチ・アイ・エス協立証券（現：エイチ・エス証券）の代表取締役社長に就任。2003 年にはモンゴル AG 銀行（現：ハーン銀行）の取締役会長に就任。2004 年に、エイチ・エス証券を大証ヘラクレスに上場させる。現在は、澤田ホールディングス株式会社の代表の他、経団連理事、経済同友会幹事も務める。</p>

出典：[http://www.nippon-shacho.com/interview/in\\_sawada-holdings/3/](http://www.nippon-shacho.com/interview/in_sawada-holdings/3/)

## 1.3 メディアへ掲載されたメッセージ記事

DREAM GATE/第 31 回 株式会社エイチ・アイ・エス 澤田秀雄

([http://case.dreamgate.gr.jp/mbi\\_t/id=456](http://case.dreamgate.gr.jp/mbi_t/id=456))

Travel vision/「世界の HIS」へ 2020 年めどに売上 1 兆円めざす/2017 年 1 月 17 日

(<http://www.travelvision.jp/interview/detail.php?id=76025>)

Recruit Works Institute/インタビュー「社会リーダー」の軌跡/2015 年 3 月 20 日

(<http://www.works-i.com/research/leader/interview/%E6%BE%A4%E7%94%B0%E7%A7%80%E9%9B%84%E6%B0%8F/>)

Net IB News/【トップインタビュー】ハウステンボス代表・HIS 会長 澤田秀雄氏（9）

/2011 年 1 月 4 日

([http://www.data-max.co.jp/2011/01/his\\_15.html](http://www.data-max.co.jp/2011/01/his_15.html))

## 2.沿革

### 2.1 グループの沿革

2016 年	●電力小売事業開始
2015 年	●「ウォーターマークホテル&スパ バリ ジンバラン」をオープン ●ハウステンボスに変わり続けることを約束するホテル「変なホテル」をオープン ●海外拠点 200 店舗突破 ●国内拠点 300 店舗突破 ●中国オンライン旅行会社「同程国際旅行公司 ( LY.com ) 」との合弁会社「LY-HIS トラベル株式会社」を設立 ●韓国大手オンラインショッピングモール「INTERPARK」との合弁会社「株式会社 INTERPARK JAPAN」を設立
2014 年	●株式会社ラグーナテンボスを設立 ラグーナ蒲郡の 3 事業を承継 ●海外拠点 150 店舗突破
2013 年	●コスタビクトリア号のチャータークルーズ開始 ●海外Eコマースサイト「h i s g o ( 旧称 : S m a r t B o o k i n g ) 」の運用が 39 カ国へ拡大
2012 年	●グアムリーフを子会社化 ●九州産業交通ホールディングス株式会社を子会社化 ●GM Communications Limited がグループ会社の一員に ●国際チャーター航空会社「アジアパシフィックエアラインズ株式会社」をバンコクに設立
2011 年	●HTB クルーズ株式会社設立  ●ウォーターマークホテル長崎・ハウステンボスをオープン ●株式会社ジャパンホリデートラベルを子会社化

2010 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハウステンボス株式会社を子会社化</li> <li>●「おもてなし」を追求した新ブランド「QUALITA」を設立</li> <li>●富裕層向け会員組織「CLASS ONE」スタート</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社エイチ・アイ・エス エクスぺリエンスジャパンを H.I.S.に統合し、インバウンド事業を一体化</li> </ul>
2009 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社 ATB の販売ネットワークを当社の下で新生スタート</li> <li>●欧州エキスプレスを子会社化</li> <li>●海外拠点 100 店舗突破</li> </ul>
2008 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「いい旅研究室」を新設</li> <li>●国内初のホテル「ウォーターマークホテル札幌」をオープン</li> <li>●国内営業所 250 店舗突破</li> </ul>
2006 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インバウンド新会社、株式会社エイチ・アイ・エス エクスぺリエ ンス ジャパン設立</li> </ul>
2005 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーストラリア 2 番目のホテル「Hotel Watermark Brisbane」を オープン</li> <li>●熊本県熊本市に本社を置く「九州産業交通株式会社」( 現九州産 業交通グループ ) が、グループ会社の一員に</li> </ul>
2004 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オンライン予約システム稼働</li> <li>●東証一部株式上場</li> <li>●国内営業所 200 店舗突破</li> </ul>
2003 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自社コンピューター新システム「Challenge ( チャレンジ ) 」導入</li> <li>●海外拠点 50 店舗突破</li> </ul>
2002 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社クルーズプラネットを子会社化</li> <li>●トラベルワンダーランド新宿本社営業所 10 周年記念リニューアル で、旅の専門デスクをオープン</li> <li>●東証二部株式上場</li> </ul>

2001 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●i モードの公式サイトとして「H.I.S.海外旅行ナビ」をオープン</li> </ul>
2000 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊和トラベルサービス（現オリオンツアー）を子会社化</li> <li>●マップインターナショナル（後の ATB）を子会社化</li> </ul>
1998 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スカイマークエアラインズが 9 月 19 日に、羽田–福岡間に定期運行開始</li> <li>（※現在は、グループ外）</li> <li>●国内営業所 100 店舗突破</li> </ul>
1996 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページオープン</li> <li>●会員制度を東日本で展開</li> <li>●ホテル事業として「The Watermark Hotel,Gold Coast」（現 Hotel Watermark）をオープン</li> <li>●航空会社「スカイマークエアラインズ」設立発表（※現在はグループ外）</li> </ul>
1995 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式を店頭公開する</li> <li>●トラベルワンダーランド新宿本社営業所 1 階に、マルチビジョン等を駆使した新しい旅の情報基地</li> <li>「World Navigation System（ワーナビ）」オープン</li> </ul>
1994 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中部、関西、九州の営業本部が統合拡張、各地最大級のオフィスとなるトラベルワンダーランドオープン</li> </ul>
1993 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本社統合のため新宿に移転拡張、海外旅行のデパート</li> <li>「トラベルワンダーランド 新宿本社営業所」オープン</li> </ul>
1991 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際航空運送協会（IATA）の公認代理店に許可される</li> <li>●「グループセクション」開設</li> </ul>



1990 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社名を「株式会社エイチ・アイ・エス」に変更</li> <li>●自社コンピュータシステム「WING」稼働</li> <li>●「ビジネスセクション」開設</li> </ul>
1989 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初めての自社主催商品「C i a o ( チャオ )」を発売</li> <li>●「アバンティ &amp; オアシス」新橋営業所内に開設</li> </ul>
1986 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運輸大臣登録一般旅行業第 724 号取得</li> <li>●中部地区の拠点として、名古屋営業所オープン</li> <li>●九州地区の拠点として、福岡営業所オープン</li> </ul>
1985 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初の海外支店として、香港支店オープン</li> </ul>
1984 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関西地区の拠点として、大阪営業所オープン</li> </ul>
1981 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運輸大臣登録旅行業代理店業第 3034 号取得</li> <li>●他社主催旅行の販売開始</li> </ul>
1980 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資本金 1,000 万円で、エイチ・アイ・エスの前身である株式会社インターナショナルツアーズを設立</li> </ul>

( <http://www.his.co.jp/company/history.html> )

## 2.2 事業展開のエポック、象徴的なエピソード、伝説、大転換期

### トルコツアーバス事故

2006 年 10 月 17 日夜、H.I.S.主催のツアー「お得にトルコ周遊 9 日間」でトルコを旅行していた日本人ツアー客を乗せたバスが横転事故を起こし、乗客 1 名が死亡、23 名が重軽傷を負った。事故原因は、雨によるスリップが理由と当局から発表された。遺族・被害者側は H.I.S.側を 2009 年 6 月 25 日に民事で提訴した。

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A8%E3%82%A4%E3%83%81%E3%83%BB%E3%82%A2%E3%82%A4%E3%83%BB%E3%82%A8%E3%82%B9>)

2017.6.2

# HIS が海外旅行シェアで首位に、JTB の牙城ハワイをも制した執念

DIAMOND online(<http://diamond.jp/articles/-/130312>)

## 2.3 その他、最近の記事

[速報](#) > [企業](#) > [記事](#)

## ハウステンボス、ドローンで光のショー

2017/6/23 13:17

日本経済新聞(<http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ23HBB T20C17A6000000/>)

## 3.経営企画

### 3.1 最近の中期経営企画

HIS 有価証券報告書(<http://his.co.jp/ir/data/securities.html>)

### 3.2 最近の海外戦略

2013 年 12 月 30 日

## HIS のグローバル戦略の最前線がバンコクである理由

ニッポンのインバウンド”参与観察”日記(<http://inbound.exblog.jp/21753599/>)

## 4.理念・方針・評価

### 4.1 経営理念

#### H.I.S.企業理念

ツーリズムを通じて、世界の人々の見識を高め、 国籍、人種、文化、宗教などを越え、  
世界平和・相互理解の促進に貢献する。

<b>H.I.S.企業行動憲章</b>

私たちは、H.I.S.ポリシーや経営理念のもとに、次の8原則に従い、全ての法令や国際ルールを遵守するとともに、社会的良識をもって行動します。
--

### 1.社会に有用な旅行商品・サービスの提供

お客様に満足・信頼していただけるよう、安心と安全に十分配慮しつつ、熱意と誠意を込めて有用な旅行商品とサービスを提供し、またその開発に力を尽くします。

### 2.公正・透明・自由な取引

お客様に旅行商品を販売し、サービスを提供するときにも、必要とする商品を仕入れ、物品を購入し、サービスの提供を受けるときにも、不健全な商慣習には毅然とした姿勢で臨み、公正で透明かつ自由な取引を行います。

### 3.適正な情報の管理と開示

お客様などの個人情報やお取引先の情報など、情報の持つ価値と重要性を十分に認識して適正に管理し、その価値を損なうような利用はしません。会社の情報は、正確かつ公正に、そしてタイムリーに開示します。

### 4.快適で安全な職場環境の確保

社員の人格や個性を尊重し合い、公私のけじめをつけ、公正な職場秩序の維持を図り、他人に不快感を与えるような行為をなくして、いつも清潔で安全な、明るく元気で生き生きとした、働きやすい豊かな職場環境づくりを目指します。

### 5.地域・社会との共生

地域・社会と幅広く良きコミュニケーションを保ち、会社の発展と隆盛を通して地域・社会に貢献してゆきます。また、市民社会の秩序や安全に脅威を与えるような反社会的勢力や団体に対しては、常に襟を正して行動します。

## 6.地球環境の保全

かけがえのない地球環境を思い、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進、ムダの排除など、事業活動全般を通じて環境との共生に努めます。

## 7.世界平和への希求

多くの人々に広く世界を知っていただき、諸外国や地域の慣習や文化の理解を深め、また、それらを尊重することを通して、世界の平和に貢献してゆきます。

## 8.役員・幹部社員の責務

役員と幹部社員は、この憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、社内体制の整備を行い、率先垂範してその実現を目指します。万一、この憲章に反するような事態が生じた場合には、役員と幹部社員は、原因究明と情報開示にあたり、自らを含めて責任を明確にし、再発防止を徹底します。

以上

HIS 企業理念(<http://www.his.co.jp/company/charter.html>)

### 4.2 経営方針の変遷

HIS 有価証券報告書( <http://www.his.co.jp/ir/data/securities.html>)

### 4.3 CSR 活動、外部表彰

**優れた旅行関連企業を表彰する「Travelzoo Awards」、H.I.S.がノミネート**

マイナビニュース/2009 年 2 月 29 日(<http://news.mynavi.jp/news/2009/02/27/054/>)

### 4.4 技術力や商品デザインの外部評価など

## 5.組織

### 5.1 組織課題の記述

[https://jobtalk.jp/company/answer\\_2533478.html](https://jobtalk.jp/company/answer_2533478.html)

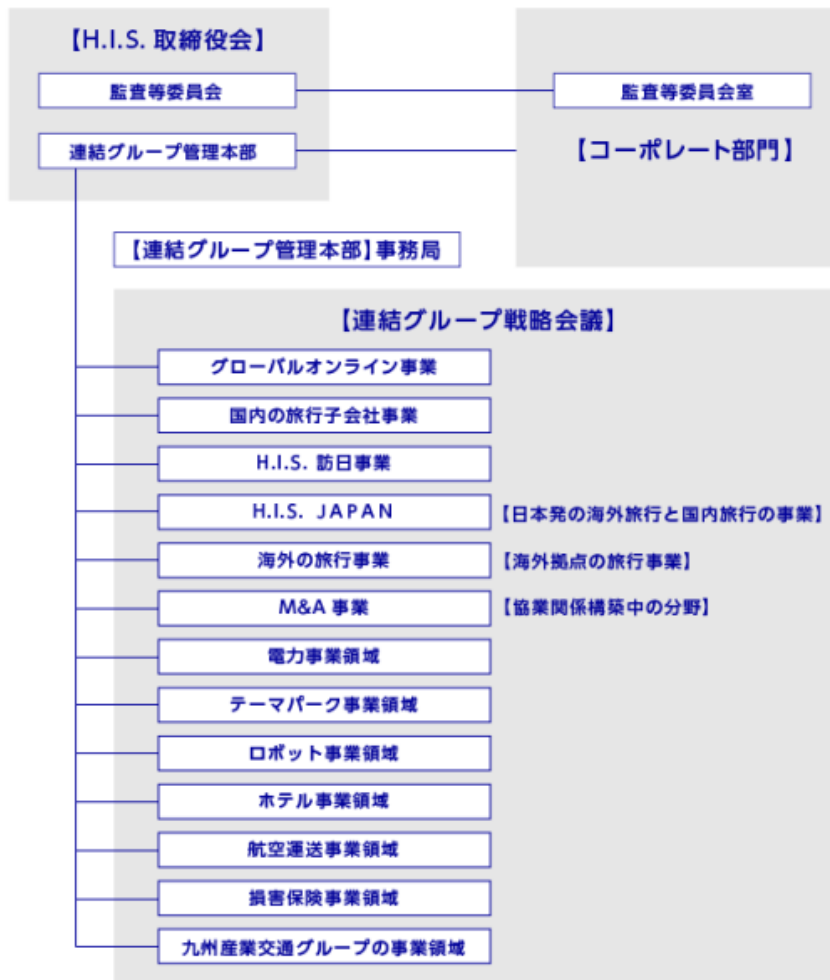
<https://jobtalk.jp/company/3658627/reputations/skill?source=answer-header>

## 5.2 組織の文化・社風

<https://jobtalk.jp/company/3658627/reputations/worklife?source=answer-header>

<https://jobtalk.jp/company/3658627/reputations/worth?source=answer-header>

## 5.3 組織図



グループ組織図 ( [http://www.his.co.jp/company/group\\_net.html](http://www.his.co.jp/company/group_net.html) )

## 5.4 内部コミュニケーションとモチベーション

職×ストリート×ジャーナル/株式会社エイチ・アイ・エス(HIS)の社員評判、採用5年後の年収は？【ロコミ】 ( <http://woman-finance.com/job/1332/> )